

# 記入例 1「3年専従型」

救急科専門医指定施設認定番号： 1234

## 救急科専門医育成プログラム登録申請書

記入日（西暦） 20XX 年 X 月 X 日

施設名	本郷医科大学附属病院	
所在地	〒000-0000 東京都文京区本郷 XX-XX	
救急部門長氏名	上野 一郎	印
プログラム責任者氏名	新宿 二郎	印
	プログラム責任者の 救急科専門医番号：	9999

※プログラム責任者は救急科専門医でなければならない。  
 ※救急部門長とプログラム責任者が同一人物の場合でもそれぞれの欄に記名のこと  
 登録するプログラム

新規・変更の別 (該当に○)	<input checked="" type="radio"/> 新規 (今回初めて申請する研修プログラム) <input type="radio"/> 変更 (すでに認定されている研修プログラムの変更) 変更するプログラム番号： _____
プログラム種別 (該当に○)	<input checked="" type="radio"/> 3年専従型 <input type="radio"/> ER型 <input type="radio"/> 複合型
プログラムの名称	本郷医科大学附属病院 3年専従型プログラム
専攻医数（年間養成可能と考える）	2名/年

	研修先 該当に○	施設名	部・科名	予 定 研修期間
1	<input checked="" type="radio"/> 救急部門 他科研修	本郷医科大学附属病院	救急部	36 カ月
2	<input type="radio"/> 救急部門 ・ <input type="radio"/> 他科研修			カ月
3	<input type="radio"/> 救急部門 ・ <input type="radio"/> 他科研修			カ月
4	<input type="radio"/> 救急部門 ・ <input type="radio"/> 他科研修			カ月
5	<input type="radio"/> 救急部門 ・ <input type="radio"/> 他科研修			カ月
6	<input type="radio"/> 救急部門 ・ <input type="radio"/> 他科研修			カ月
7	<input type="radio"/> 救急部門 ・ <input type="radio"/> 他科研修			カ月
8	<input type="radio"/> 救急部門 ・ <input type="radio"/> 他科研修			カ月
		計		36 カ月
		救急部門		( 36 )
		・ 他科研修		( )

救急科専門医指定施設認定番号  
 「日本救急医学会 HP」 → 「名簿・施設一覧」 → 「救急科専門医指定施設」  
 (URL: <http://www.jaam.jp/html/shisetsu/senmoni-s.htm>) に記載の 4 桁の数字

救急科専門医番号は認定証に記載（不明の場合は日本救急医学会事務局までお問い合わせください）

すでに認定されている研修プログラムの番号は、  
 「日本救急医学会 HP」 → 「専門医制度」 → 「現行制度下における研修開始届（事前登録）の申請について」(URL: <http://www.jaam.jp/html/info/2014/info-20140305.htm>) に掲載の Excel「救急科専門医育成プログラム登録一覧」で確認

プログラムの種別（該当に○）  
**3年専従型**：3年間（36ヶ月）救急部門に専従するプログラム  
**ER型**：「救急患者の診療を行うため、救急専従研修と他科研修を組み合わせるプログラム」で、これは、「救急専門医取得及び、ER型後期研修カリキュラム [http://www.jaam.jp/er/committee/report/files/2013\\_13er\\_curriculum.pdf](http://www.jaam.jp/er/committee/report/files/2013_13er_curriculum.pdf)」を履修することを目的としたプログラム（事前申請により他科・他施設ローテーションも認める）」と同義  
**複合型**：3年専従型・ER型以外のプログラムで、救急専従をしない他科研修（ローテーション）を含むプログラム

救急部門に○をつけるのは、救急専従歴となる場合のみとしてください  
 ※救急専従とは  
 1) 救急部門に所属すること。  
 2) 救急部門の診療に従事すること。  
     ※職員就業規則等において正規職員に定められた勤務時間を救急部門での業務に従事すること  
 3) 専従歴の最小単位は連続して3か月以上とし、専従歴に加算することができる。  
 ここで言う「最小単位は連続して3か月以上」は正味（まる）3か月を最小単位」の意である。連続して3か月以上の勤務でない場合は、救急専従歴に認められない

研修期間について、各研修医によって違う場合も多いと思われるが、3~4ヶ月などの記載ではなく、代表的な期間を例としてご記入すること。  
 関連研修先が複数あり、実際の研修先が未定の場合は、「A病院○科・B病院○科・C病院○科のいずれか」のように記載いただくか、別紙参照とし、関連病院についてまとめた用紙を添付してください。

救急科専門医新規申請の救急勤務歴審査において、救急勤務歴3年（36ヶ月）が必要なため、救急部門+他科研修の5割（最大1年間）=36ヶ月以上=36ヶ月以上になるようにする  
 【注意】（救急部門）で12ヶ月以上あること  
 【注意】救急部門の研修は上記救急専従にあてはまる場合とすること（連続して3ヶ月ない場合は、他科研修として扱う）  
 例1：（救急部門36ヶ月）=36ヶ月  
 例2：（救急部門24ヶ月）+（他科研修24ヶ月÷2）=36ヶ月  
 救急勤務歴審査については、日本救急医学会専門医認定制度P14~P15「救急科専門医新規認定申請 審査方法について」(URL: [http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni\\_2011\\_2.pdf](http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni_2011_2.pdf))を確認のこと

# 記入例 2 「複合型」

救急科専門医指定施設認定番号： 1234

## 救急科専門医育成プログラム登録申請書

記入日（西暦） 20XX 年 X 月 X 日

施設名	本郷医科大学附属病院	
所在地	〒000-0000 東京都文京区本郷 XX-XX	
救急部門長氏名	上野 一郎	印
プログラム責任者氏名	新宿 二郎	印
	プログラム責任者の 救急科専門医番号：	9999

※プログラム責任者は救急科専門医でなければならない。  
 ※救急部門長とプログラム責任者が同一人物の場合でもそれぞれの欄に記名のこと  
 登録するプログラム

新規・変更の別 (該当に○)	<input checked="" type="radio"/> 新規 (今回初めて申請する研修プログラム) <input type="radio"/> 変更 (すでに認定されている研修プログラムの変更) 変更するプログラム番号：
プログラム種別 (該当に○)	<input type="radio"/> 3年専従型 <input type="radio"/> ER型 <input checked="" type="radio"/> 複合型
プログラムの名称	本郷医科大学附属病院複合型プログラム
専攻医数（年間養成可能と考える）	2名/年

	研修先 該当に○	施設名	部・科名	予 定 研修期間
1	<input checked="" type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修	本郷医科大学附属病院	救急部	12 カ月
2	<input checked="" type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修	文京総合病院	救命救急センター	12 カ月
3	<input checked="" type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修	本郷医科大学附属病院	外科・内科・麻酔科のいずれか	12 カ月
4	<input checked="" type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修	新宿総合病院	脳神経外科	12 カ月
5	<input type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修			カ月
6	<input type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修			カ月
7	<input type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修			カ月
8	<input type="radio"/> 救急部門 <input type="radio"/> 他科研修			カ月
		計		48 カ月
		救急部門		( 24 )
		他科研修		( 24 )

救急科専門医指定施設認定番号  
 「日本救急医学会 HP」 → 「名簿・施設一覧」 → 「救急科専門医指定施設」  
 (URL: <http://www.jaam.jp/html/shisetsu/senmoni-s.htm>) に記載の 4 桁の数字

救急科専門医番号は認定証に記載（不明の場合は日本救急医学会事務局までお問い合わせください）

すでに認定されている研修プログラムの番号は、  
 「日本救急医学会 HP」 → 「専門医制度」 → 「現行制度下における研修開始届（事前登録）の申請について」(URL: <http://www.jaam.jp/html/info/2014/info-20140305.htm>) に掲載の Excel「救急科専門医育成プログラム登録一覧」で確認

プログラムの種別（該当に○）  
**3年専従型**：3年間（36ヶ月）救急部門に専従するプログラム  
**ER型**：「救急患者の診療を行うため、救急専従研修と他科研修を組み合わせるプログラム」で、これは、「救急専門医取得及び、ER型後期研修カリキュラム [http://www.jaam.jp/er/committee/report/files/2013\\_13er\\_curriculum.pdf](http://www.jaam.jp/er/committee/report/files/2013_13er_curriculum.pdf)」を履修することを目的としたプログラム（事前申請により他科・他施設ローテーションも認める）」と同義  
**複合型**：3年専従型・ER型以外のプログラムで、救急専従をしない他科研修（ローテーション）を含むプログラム

救急部門に○をつけるのは、救急専従歴となる場合のみとしてください  
 ※救急専従とは  
 1) 救急部門に所属すること。  
 2) 救急部門の診療に従事すること。  
     ※職員就業規則等において正規職員に定められた勤務時間を救急部門での業務に従事すること  
 3) 専従歴の最小単位は連続して3か月以上とし、専従歴に加算することができる。  
 ここで言う「最小単位は連続して3か月以上」は正味（まる）3か月を最小単位」の意である。連続して3か月以上の勤務でない場合は、救急専従歴に認められない

研修期間について、各研修医によって違う場合も多いと思われるが、3~4ヶ月などの記載ではなく、代表的な期間を例としてご記入すること。  
 関連研修先が複数あり、実際の研修先が未定の場合は、「A病院〇科・B病院〇科・C病院〇科のいずれか」のように記載いただくか、別紙参照とし、関連病院についてまとめた用紙を添付してください。

救急科専門医新規申請の救急勤務歴審査において、救急勤務歴3年（36ヶ月）が必要なため、救急部門+他科研修の5割（最大1年間）=36ヶ月以上にする  
 【注意】（救急部門）で12ヶ月以上あること  
 【注意】救急部門の研修は上記救急専従にあてはまる場合とすること（連続して3ヶ月ない場合は、他科研修として扱う）  
 例1：（救急部門36ヶ月）=36ヶ月  
 例2：（救急部門24ヶ月）+（他科研修24ヶ月÷2）=36ヶ月  
 救急勤務歴審査については、日本救急医学会専門医認定制度 P14~P15「救急科専門医新規認定申請 審査方法について」(URL: [http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni\\_2011\\_2.pdf](http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni_2011_2.pdf)) を確認のこと

**記入例 3 「ER 型」**

救急科専門医指定施設認定番号： 1234

**救急科専門医育成プログラム登録申請書**

記入日（西暦） 20XX 年 X 月 X 日

施設名	本郷医科大学附属病院	
所在地	〒000-0000 東京都文京区本郷 XX-XX	
救急部門長氏名	上野 一郎	印
プログラム責任者氏名	新宿 二郎	印
	プログラム責任者の 救急科専門医番号：	9999

※プログラム責任者は救急科専門医でなければならない。  
 ※救急部門長とプログラム責任者が同一人物の場合でもそれぞれの欄に記名のこと  
 登録するプログラム

プログラム種別 (該当に○)	3年専従型	ER型	複合型
プログラムの名称	本郷医科大学附属病院 救急科専門医育成研修プログラム		
専攻医数（年間養成可能と考える）	4名/年		

	研修先 該当に○	施設名	部・科名	予 定 研修期間
1	救急部門 他科研修	本郷医科大学附属病院	救急部	18 カ月
2	救急部門 他科研修	都立御茶ノ水病院	救命救急センター	6 カ月
3	救急部門 他科研修	本郷医科大学附属病院	総合内科	6 カ月
4	救急部門 他科研修	都立御茶ノ水病院	循環器内科	3 カ月
5	救急部門 他科研修	都立御茶ノ水病院	消化器内科	3 カ月
6	救急部門 他科研修	都立御茶ノ水病院	小児科	3 カ月
7	救急部門 他科研修	都立御茶ノ水病院	整形外科	3 カ月
8	救急部門 他科研修	都立御茶ノ水病院	麻酔科	3 カ月
9	救急部門 他科研修	都立御茶ノ水病院	脳神経外科	3 カ月
			計	48 カ月
			救急部門	( 24 )
			他科研修	( 24 )

救急科専門医指定施設認定番号

「日本救急医学会 HP」 → 「名簿・施設一覧」 → 「救急科専門医指定施設」

(URL : <http://www.jaam.jp/html/shisetsu/senmoni-s.htm>) に記載の 4 桁の数字

救急科専門医番号は認定証に記載（不明の場合は日本救急医学会事務局までお問い合わせください）

プログラムの種別（該当に○）

**3年専従型**：3年間（36ヶ月）救急部門に専従するプログラム

**ER型**：「救急患者の診療を行うため、救急専従研修と他科研修を組み合わせるプログラム」で、これは、「救急専門医取得及び、ER型後期研修カリキュラム [http://www.jaam.jp/er/committee/report/files/2013\\_13er\\_curriculum.pdf](http://www.jaam.jp/er/committee/report/files/2013_13er_curriculum.pdf)」を履修することを目的としたプログラム（事前申請により他科・他施設ローテーションも認める）」と同義

**複合型**：3年専従型・ER型以外のプログラムで、救急専従をしない他科研修（ローテーション）を含むプログラム

救急部門に○をつけるのは、救急専従歴となる場合のみとしてください

※救急専従とは

- 1) 救急部門に所属すること。
- 2) 救急部門の診療に従事すること。  
 ※職員就業規則等において正規職員に定められた勤務時間を救急部門での業務に従事すること
- 3) 専従歴の最小単位は連続して3か月以上とし、専従歴に加算することができる。

ここで言う「最小単位は連続して3か月以上」は正味（まる）3か月を最小単位」の意である。連続して3か月以上の勤務でない場合は、救急専従歴に認められない

研修期間について、各研修医によって違う場合も多いと思われるが、3~4ヶ月などの記載ではなく、代表的な期間を例としてご記入すること。

関連研修先が複数あり、実際の研修先が未定の場合は、「A病院○科・B病院○科・C病院○科のいずれか」のように記載いただくか、別紙参照とし、関連病院についてまとめた用紙を添付してください。

救急科専門医新規申請の救急勤務歴審査において、救急勤務歴3年（36ヶ月）が必要なため、救急部門+他科研修の5割（最大1年間）=36ヶ月以上になるようにする

【注意】（救急部門）で12ヶ月以上あること

【注意】救急部門の研修は上記救急専従にあてはまる場合とすること（連続して3ヶ月ない場合は、他科研修として扱う）

例1：（救急部門36ヶ月）=36ヶ月

例2：（救急部門24ヶ月）+（他科研修24ヶ月÷2）=36ヶ月

救急勤務歴審査については、日本救急医学会専門医認定制度 P14~P15「救急科専門医新規認定申請 審査方法について」(URL : [http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni\\_2011\\_2.pdf](http://www.jaam.jp/html/senmoni/senmoni_2011_2.pdf)) を確認のこと